

三浦半島宮陵会だより

発行者: 神奈川大学三浦半島宮陵会 企画・広報委員会
事務局: 鎌倉市津西 1-31-15 Tel: 0467-32-4957

第90回箱根駅伝を応援

第90回東京箱根間往復大学駅伝徒競走が平成26年1月2日、3日に行われました。今回は90回の記念大会で、3校増の23校が箱根路で熾烈な戦いを繰り広げました。神大は総合18位と惨敗に終わりましたが、当地域組織は例年通りJR保土ヶ谷駅近くの円福寺前で熱烈な応援を繰り広げました。熱心に応援してくださった一部の方から励ましの一言をいただきましたのでご紹介します。



若林秀明さん
(昭和39年経済卒)
鎌倉市在住(会員)
「今年1年生が3名走ったので来年に期待したい」



原柳作さん
(昭和46年英語卒)
三浦市在住(会員)
「今日も精一杯応援します」



手戸俊彰さん
(昭和63年法律卒)
神奈川区在住
「神大がんばれ！」



鈴木三郎さん
(昭和51年法律卒)
横須賀市在住(会員)
「来年もシード権を目指して頑張れ！」



根本郁恵さん
(昭和61年貿易卒)
南区在住
「シード権を是非お願いします」



清水英樹さん
(昭和56年法律卒)
横須賀市在住(会員)
「来年に繋がるような走りを期待しています」



森義徳・麻理子夫妻
(お父さんがOB)
南区在住
「9区10区でミラクルを期待しています」



鈴木和夫さん
(昭和46年法律卒)
横須賀市在住(会員)
「来年は是非シード権を！スポーツは気力と根性だ！」



高橋英子さん
(知り合いに神大OBがいる) 南区在住
「優勝していたころの強いイメージがある。リベンジしてほしい」

平成26年新年会 盛大に開催

～新春講演会・懇親会～



1月2日に応援された皆さん



1月3日に応援された皆さん



JR保土ヶ谷駅近くの円福寺前での応援風景

<成績> 4年連続 45 回目の出場

往路：5 時間 41 分 56 秒 15 位

復路：5 時間 41 分 51 秒 20 位

総合：11 時間 23 分 47 秒 18 位

シード権差：9 分 04 秒、トップ差：30 分 56 秒



平成 26 年（第 8 回）の新年会は 2 月 2 日、京急横須賀中央駅前のセントラルホテルに 50 人余の同窓生が参加し盛大に行われました。

昭和 46 年英語卒の原柳作さんが、講演会と懇親会の様子をご紹介します。

一部の講演会では、過去 3 度のオリンピック出場を果たし、現在は大学職員の傍ら女子サッカー部コーチを務める矢野喬子さん（30）が「オリンピックに 3 回出場して」と題して講演。代表選手として出場したロンドンオリンピックの選手村での体験や、オリンピッククイズ、サッカーから学んだこと、これからの目標などユーモアを交えながら話した。会場からは多くの質問も寄せられ、持ち時間はアットという間に過ぎてしまった。準優勝の銀メダルも持って来てくれたので、参加者はメダルに触ったり首にかけたりして体験できないオリンピックに思いを寄せた。

二部の懇親会では、アトラクションとして出演していた



いたハワイアン「ポーボキ」の演技(写真)が人気の的。特にご婦人方の衣装が色っぽく、平均年齢69歳の酔眼の男性は皆ニコニコ顔。懇親会が大成功といわれるゆえんは、こうした多くのご婦人方の出演があればこそだと改めて感じた次第です。

来賓としてお出でいただいた水上晃神大広報部長（昭和 52 年経済卒）の挨拶要旨と主催者である古川勝彦三浦半島宮陵会会長（昭和 40 年経済卒）の挨拶を紹介します。

【水上広報部長の挨拶要旨】正月の箱根駅伝、三浦半島宮陵会の皆さんには、保土ヶ谷駅前にて応援いただき御礼申し



上げます。

大学の近況をご報告します。①2012年から着工していた3号館が3月下旬に竣工の予定です。

29の講義室、創立者・米田吉盛先生の足跡を辿る資料展示や、日本常民文化研究所

所蔵資料の紹介など、ギャラリー的機能を備えたものです
②4月に中丸地区の男子寮、女子寮に隣接する形で、収容人員が100名の国際女子寮(仮称)を開設します。本学学生と海外からの留学生が相互に国際体験できることをイメージしたものです
③日本格付研究所(JCR)から引き続き「AA(ダブルAフラット)」、格付けの見通し「安定的」を取得しました
④前期入学試験が2月4、6、7、8日に行われます。昨年に比べ18歳人口は約5万人減(前年比96%)といわれています。現在、後期試験の募集を開始していますが、18歳人口の減少の中にあって、ほぼ前年並みの志願者を獲得できるのではと期待しています。卒業生の皆さんには引き続き母校へのご支援をお願いします。

【古川会長の挨拶要旨】会員はもちろん他地区の宮陵会の皆さんにもご参加いただき、このように盛大な新年会を開催できますことにまずお礼申し上げます。



昨年「一歩前へ」を申しあげました。今年は午年にちなみ「さらに飛躍を」というキャッチフレーズのもと、積極的に懇親を深め、仲間意識を高めながら「宮陵会の輪」を広め、皆さんの力で「研究と教育の場・大学」を支えましょう。

本会の活動に皆様のさらなるご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。

本会の活動に皆様のさらなるご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます。



参加者全員による記念撮影(H26.2.2 セントラルホテルにて)

新春講演会

神奈川大学女子サッカー部コーチ 矢野喬子氏

◎プロフィール

1984年横浜市生まれ。湘南学院高等学校を経て2007年神奈川大学国際経営学科卒業。

▽サッカー歴：アローズSC、横須賀シーガルズ、湘南学院高校女子サッカー部、神大体育会女子サッカー部、浦和レッドダイヤモンドレディース

(2013.1引退) ▽代表歴：2003年第4回FIFA女子W杯アメリカ大会、2004年アテネオリンピック、2007年第5回FIFA女子W杯中国大会、2008年北京オリンピック、2010年第16回アジア競技大会、2011年第6回FIFA女子W杯ドイツ大会、2012年ロンドンオリンピック ▽Aマッチ数：74 試合1ゴール ▽なでしこリーグ新人賞2007 ▽なでしこベストイレブン6回

<講演テーマ>「オリンピックに3回出場して」



現在、神奈川大学健康科学スポーツ支援課に勤務しています。

●小学生から大学時代

私は小学校入学時からサッカーを始め、昨年1月に引退するまで

22年間、サッカーをやってきました。

小学校時代は、地元金沢区少年サッカーチームの「アローズSC」、中学校時代は久里浜にある「横須賀シーガルズ」、高校は「湘南学院高等学校女子サッカー部」で、大学は「神奈川大学体育会女子サッカー部」で、卒業後は「浦和レッドダイヤモンドレディース」で6年間プレーしました。

神奈川大学の2年生になってから、「なでしこ」の一員(日本代表)として10年間プレーをさせていただきました。

●ワールドカップとオリンピック

最初に出場した2003年第4回ワールドカップ アメリカ大会は予選敗退。2004年アテネオリンピックはベスト8。2007年第5回ワールドカップ 中国大会は予選敗退。2008年北京オリンピックは4位。2011年第6回ワール

ドカップ ドイツ大会は優勝。この大会で女子サッカーが世間に知られるようになりました。2012年ロンドンオリンピックは準優勝です。

2004年アテネオリンピック出場を決めた大舞台、アジア予選には11か国が出場。グループリーグ初戦のベトナム戦は7対0、2回戦のタイ戦は6対0で勝利し、グループリーグ1位通過で迎えた4月24日の準決勝・北朝鮮戦は国立競技場に32,000人が入場。テレビの視聴率16.3%。北朝鮮とは1991年以降13年間で7連敗でしたが、3対0で勝利しオリンピック出場を決定しました。この時に、皆様からの応募で「なでしこジャパン」の愛称が決まりました。

●オリンピックの選手村とは

次に、ロンドンオリンピックの選手村についてお話しします。選手村には、食事会場、トレーニングジム、カラオケルーム、パソコンルーム、プール（ジャグジー付）などが備わっています。入村する際には、セキュリティが厳しく、すべての施設に入るときにチェックされます。入村時に作るパスが必要です。そのパスで飲み物も調達できます。また、日本選手団専用カードがあれば、日本選手団用に用意している日本食も食べることができます。

食事会場ですが、日本ですとお寿司が食べられますが、生ものがなく、軍艦と言われるものは、ネタはわさびや枝豆だけ。みそしるは、味噌を入れただけで味は薄いです。たくわん、キムチもあります。アジアだと中華料理に近いものが多いようです。イタリアだとピザ、ソーセージ、とうもろこし、じゃがいものペースト状にしたものがあり、スポンサーでもあるマクドナルドのハンバーグが提供され、食べ放題。外国人選手は体調を気にせず食べますが、日本の体操選手は食事に気を付けているので食べません。

ジムには、走る機械が備わり、サウナもあります。部屋は、普通はシングルでアパートのようになっていますが、なでしこが入った所は3LDKに2~3人で入るタイプ。テレビ、シャワールーム、キッチンも備わっていました。日本人だけ入るところには、疲労回復のために酸素カプセルが用意されていました。娯楽室では、ビリヤード、卓球やダーツも楽しめますが、日本選手は利用しません。

選手村の移動に自転車を利用する国もありますが、日本はありません。日本選手団にはツムラから、まだ国内では発売されていない入浴剤が、効き湯として2袋支給されました。他にもクノールからスープなども支給されました。

●オリンピックのスタジアムについて

次は、ロンドンオリンピックのスタジアムについてです。7月25日のカナダ戦（観客14,119人）や28日のスウ

エーデン戦（観客14,160人）の開催されたコヴェントリー・シティーFCのホームスタジアム「シティー・オブ・コヴェントリー・スタジアム（リコー・アリーナ）」は32,500人収容。31日の南アフリカ戦（観客14,753人）や8月3日のブラジル戦（観客28,828人）が開催されたラグビーの聖地「カーディフ・ミレミアム・スタジアム」は74,500人収容。スペインの「カンパ・ノウ」（99,000人収容に次いでヨーロッパ第2位の大きさで、8月6日のブラジル戦（観客61,482人）や9日のアメリカとの決勝戦が開催された「ウェンブリー・スタジアム」は90,000人収容可能で、アメリカ戦では80,203人の入場者がありました。

スタジアムの特徴としては収容人数も多く、日本のように陸上トラックが回りにないので、観客が近くで観戦することができます。海外では、このような造りが多いです。

●神大女子サッカー部の指導について

現在、神大女子サッカー部のコーチを引き受けています。昨年度は結果が出ないで終わりました。人数も減り現役19名です。強化策としてインターハイなど、全国を回って、なでしこに入れるようなエース級の1年生25名を集めましたので、来年度は頑張りたいと思います。「いい選手が集まれば勝てる」では、いい指導者とは言えません。私はコーチですので、選手に近い立場でサポートしていきたいと思います。

●サッカーで学んだこと

最後にサッカーをしてきて何を学んだのか、をお話しします。

サッカーのことだけではありませんが、生活の中で自分の強さと弱さを知ることができました。自分とチームのことを知ることが大切だと考えることが、出来るようになりました。自分の弱さを知ることでも何を強くしなければいけないか、を学びました。

また、「目標は高く」と言うことも、北京オリンピックの時に学びました。北京ではベスト4を目指し、結果は4位でした。「アメリカがメダルを取れたのは、優勝を目指していたから」とアメリカの選手から聞きました。日本の目標がもう少し高ければ、もしかしたらメダルに手が届いていたかもしれません。目標が低かったと思います。

目標はふれぬ。山頂を目指す山登りと同じで道は様々。装備もいろいろ。考え方、歩くスピードも違う。それでも目指すゴールは同じ。それが、ロンドンオリンピックで結果に結びつきました。

ご清聴、ありがとうございました。

（文責 塩塚）

新年会参加者の一言

第8回（平成26年）の新年会には、昭和32年から平成18年の卒業生まで54名の参加があり、賑々しく開催されました。新年会に参加した一部の方から感想等の一言をいただきましたのでご紹介します。



奥野晶洋さん
（昭和42年工経卒）
横須賀市在住（会員）

「久しぶりにお会いできる方がいるので、楽しみに参加しています」



小田進一さん
（昭和32年短電卒）
鎌倉市在住（会員）

「81歳になりましたが、皆さんから元気をもらっています。これからも参加したいと思います」



吉川優也さん(写真中央)
（平成18年法律卒）
横須賀市在住（会員）

「少しでも母校に貢献したいと思いますので、よろしく願いいたします」



金野義勝さん
（昭和45年経済卒）
横須賀市在住（会員）

「忙しい年始だったが、やっと休みが取れるようになりました。皆さんに会えて嬉しい。蛇足ですが、お住まいの町内会にも積極的に参加してください」



柳沢 剛さん(写真右側)
（昭和37年工経卒）
＜特別参加＞

「活弁な会だと思えます。これからも期待しています」



石渡俊一さん
（昭和53年建築卒）
葉山町在住（会員）

「2回目の参加です。交流の場としてこれからもどんどん出席したい」



鳥海洋義さん
（昭和49年西語卒）
横須賀市在住（会員）

「会社の若い人にもどんどん会に入ってもらおうよう頑張りたい」



米田光男さん
（昭和33年経済卒）
葉山町在住（会員）

「こんなに活弁にやっている会とは知らなかった。これからも参加したい」



南雲忠男さん
（昭和36年法律卒）
横須賀市在住（会員）

「良い雰囲気で見知りにも会える。心和む会なのでこれからも続けてもらいたいし、是非参加したい」



佐久間克己さん
（昭和51年貿易卒）
横須賀市在住（会員）

「地元の人がこれだけ集まって新年会ができるのは幸せです。これからもよろしく願います」

三浦半島宮陵会からの 会員情報

同好会通信 (世話人が紹介します)

●ゴルフ会世話人:中川六郎 (昭和44年経済卒)

メールアドレス：nakaroku@jcom.home.ne.jp

連絡先：090-9003-2499



第22回オープンコンペは、2013年11月22日(金)、鹿野山ゴルフ倶楽部で開催され、参加者4組13名が、8時28分に天神コースをスタート。午後は浅間コースで、宮陵会会長杯争奪戦を戦いました。

競技は18ホールストロークプレーで行い、塚田尚さんが5回目の優勝を遂げました。塚田さんのスコアは42、37で79。バスクロも獲りました。2位は、武井利徳さん。3位は、前回優勝の佐藤武さんでした。ニアピンは、天神5番、有川さん、浅間4番、諫山さん。ドラコンは、天神9番、荻原さん、浅間6番、和田さんでした。初参加は、斉藤 勁さんの紹介で、鎌倉の和田猛美さん、荻原隆宏さんでした。

パーティでは、表彰と初参加者のご紹介、塚田さんからは「日本を離れる前の記念になり、うれしいです」と優勝スピーチがありました。塚田さんは仕事で2年間マレーシアに行かれます。出席者から「頑張ってこい」と激励されました。

なお塚田さんがご不在の間は、鈴木和夫さんにキャプテン代行を、世話人として佐藤武さんに加わっていただきました。第23回大会は、3月28日(金)会員の箕輪義夫さん(昭和63年貿易卒)が社長を務めている市原京急カントリークラブで開催いたしました。(写真は第22回参加者)



●テニス会世話人:小池邦夫 (昭和38年機械卒)

メールアドレス：kichiemu@mbj.nifty.com

連絡先：090-8811-5079



今年度も運動不足予防、テニス後の親睦歓談を楽しみに活動する計画です。

ご家族、友人お誘いあわせのうえ奮ってご参加ください。

初心者大歓迎ですので一度、

見物にお出かけください。現在のメンバーも他のスポーツの心得はともかく、ことテニスに関しては全員自己流でゲームを楽しんでいます。因みに現在普及しているラケットは250グラム前後の軽量でスイートスポットが広く、ボールが面の中心を外れても思わぬショットが入ることがあります。もちろん真ん中に当たると、ボールは快音を残して飛びます。

例会は原則として毎月第3月曜日に葉山または茅ヶ崎のテニスクラブで行ないます。また、夏の合宿ではテニスを楽しみながら2泊3日をのんびりと高原で過ごすことを恒例にしています。

●歩こう会世話人:若林秀明 (昭和39年経済卒)

メールアドレス：w-hideaki@mvd.biglobe.ne.jp

連絡先：090-3220-1479



「歩こう会」は、この一年間実施していませんでしたが、今年は前半・後半の2回実施することにします。

このところ「歩こう会」も回を重ねるごとに参加していただける会員の方々が、次第に増えています。今後も「歩こう会」を実施し、会員相互の融和を図っていきたいと思います。前半は、横須賀のハイキングコースの中から選び更に実績を作りたいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。

会員の方々は勿論のこと、ご家族やご近所の方々にも参加していただき、楽しくお互いに絆を強め合えるような雰囲気「歩こう会」を企画します。

皆様多数ご参加ください。

●つり会世話人:清水英樹 (昭和56年法律卒)

メールアドレス：Shimih01@kanagawa-u.ac.jp

連絡先：090-2257-0691

ただ今休止中ですので、ご了承ください。

わが社・わが店・わが商品の紹介 久保田 宣彦 (昭和44年法律卒)



有限会社ヤマヨク保田
商会の久保田です。

当社は、海と緑多い山
に囲まれた三浦半島の中
央部に位置し、自然に恵
まれた環境にあります。

近くにはNTTの通信研究所やYRP(ヨコスカ・リサーチ・
パーク)という通信関連の研究機関が集積しています。

神大を卒業後、父の経営するヤマヨ(弊社)に入社しまし
た。当時は自動車部品の販売、機械加工、車両販売、整備等
幅広く手がけていましたが、時代の流れとともに現在はスズ
キの車両販売を軸に、自動車整備に特化しています。

販売の業態は他販売会社と変わりませんが、整備の取り組
みについては、他社と一味違う商品を有しています。



[コンピューター診断] (有) ヤマヨク保田商会全景

車検整備において全車両にエンジンコンピューター診断を
行い、過去のトラブルデータの抽出および現在の車の状況
を把握し、愛車の健康管理を行っています。

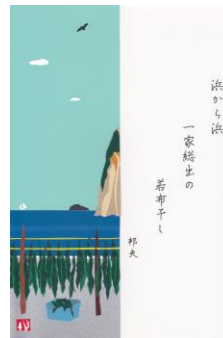
[福祉車両代車無料]

お年寄りやお身体に障害をお持ちの方だけでなく、施設や
家庭で介護・介助をされているお一人おひとりに対して安全
で快適な福祉車両をご利用いただきたい。こんな思いから三
浦半島地域で本格的に福祉車両取扱店として活動しています。
特に、福祉関係の車両は、ご本人、事業者様にとっては一時
たりとも手放すことができない必要不可欠なものです。特
殊な車両のためレンタカーも数少なく料金も高いためご使用
者様の負担が非常にかかります。当社では、福祉車両の代車

をご用意しています。ご入庫いただいた場合、代車費用は無
料です。弊社の福祉車両代車無料サービスをご利用ください。
車のことは何なりとご相談ください。お待ちしております。
連絡先は 090-1618-5593です。

弊社の商品の一部を紹介させていただき感謝申し上げます。

HP(ホームページ)の紹介 塩塚 定雄 (昭和48年貿易卒)



昭和48年貿易卒の塩塚です。

只今のアクセス件数は4411件で
す。アクセス件数があまり増えて
いません。会員の方には、1か月
に1回は見てほしいですね。

「会員からのお便り」では、小池
邦夫さんから「俳句と切り絵」、

内藤正久さんから「今月の鳥・コメントと写真」と、そ
れぞれ季節を感じさせるお便りが送られてきていますの
で、ホームページに掲載させていただいています。皆様
もご連絡メールを利用して、お便りをお寄せください。

また、新年会やゴルフコンペ等、催しの後には、写真
とともに催しの様子を掲載するようにしています。

ホームページへのアクセスをお待ちしております。

会 員 の 紹 介 石 井 和 行 (昭和35年法経卒)



平成25年総会のアトラク
ションで南京玉すだれの演技
をしてくださった鎌倉市在住
の石井和行さん(写真 ©ゆり
こ)が、鎌倉市手広の郷土
歴史書「手広考つれづれ」を
完成されましたので、ご紹介
します。

石井さんは、生まれも育ち
も鎌倉手広。これまで地元の医療生協の機関誌にコラム「わ
が町手広」を連載したり、片岡幼稚園の30周年記念誌に「手

広のあらし」を連載したりと知る人ぞ知る郷土史家です。手広中学では、総合学習の一環として教壇に立つなど活動の幅は多岐に亘ります。

平成23年10月に地元の古刹、青蓮寺の主催で四国八十八か所霊場巡りに赴いたとき、一緒に参加した知人からこれまでの資料を一冊にまとめたらどうかと提案され、1年がかりで365頁にもおよぶ郷土歴史書「手広考つれづれ」を完成されました。作中には、20歳代から故郷の風景をカメラに収めた写真が散りばめられています。

資料を整理する過程で、地域の農家に保管されていた天正19年（1591年）の検地帳に初めて「手広」という地名を発見されましたが、これは、文献に残る一番古いものだそうです。また、古老の話を基に村の社会生活をまとめた項目には、貴重な近世の実生活がみつらわれています。

「伝聞は時代とともに少しずつ変わっていく。だからある段階でしっかり資料をまとめる」そして「子供たちには、郷里を大切にしたい気持ちを持ってほしい」という考えでまとめられたそうです。

石井さんは、神大卒業後、農林省（当時）に入省され、返還時の沖縄を始めJICA（国際協力機構）に出向し、タイなどの東南アジアやアフリカのタンザニアにも農業支援で訪られたそうです。（文責 内藤）

一マを通じた地域間交流を深めたりする機会が増えてきています。市民活動は、こうした社会環境の流れに従い、地域社会を舞台とした人々の交流を促すものです。

「市民活動」を最も広義に捉えれば、市民が営む全ての活動になりますが、ここでいう「市民活動」とは、一口で言えば市民の自主的・自発的活動で、不特定多数者の利益、その他社会の利益につながる活動のことをいいます。従って、営利目的の経済活動、宗教活動、政治活動等は除きます。

市民のことですから当然行政が…とのご意見があるかと思いますが、しかし、市民活動の主旨から、これに行政が介入することは適当ではありません。加えて市民ニーズの高度化・多様化・地域化に対する行政の限界も見えてきました。従って、行政には「市民活動」の対等なパートナーとして市民活動促進策（支援策）を長期的観点に立ち提示していただきたいと思います。

行政による側面的支援策として具体的に挙げられるのが「横須賀市立市民活動サポートセンター」です。サポートセンターは「中心となる市民活動拠点」「市民活動の担当・相談窓口」としての役割を担い、あらゆる分野での市民活動を支援する施設です。登録する市民公益活動団体は、600を超すと聞いております。名前のとおり市民活動をサポートする内容は多岐に亘り、交流サロン・ミーティングコーナー・ワーキングコーナーなどがあり、少人数の打合せから36人までの会議、さらには資料・会報・チラシ等の作成およびそれに必要な器材が整っています。我が宮陵会も時々使わせていただいています。また、これから市民活動を始めたい、NPO法人を立ち上げたい、他の団体と交流したい、広報PRをしたい等、市民活動に関する相談にも応じています。

小生がボランティアで所属する4Sクラブ（紙面の都合で説明は省略）は、市民活動を希望する市民の方と活動団体を結ぶジョイントの役目を及ぼすながら果たしています。市民活動デビューに4Sクラブに登録してはいかがでしょうか。お待ちしております。

大学ニュース

●待望の「横浜キャンパス新3号館」が完成

本年3月25日キャンパス整備の要となる新3号館が完成しました。この建物は、旧3・4号館の跡地に建て

<特別寄稿>

「市民活動に参加しませんか」

長谷川征勝（昭和40年貿易卒）

当地域組織の幹事で、横須賀地区を取りまとめている長谷川さんから寄稿文が届きましたので、ご紹介します。



現在私たちを取り巻く社会は、高齢化、少子化、教育、ごみ問題やリサイクルといった地域社会に密着する深刻な問題に直面しております。また長寿化や就業形

態の多様化なども相まって人々はこれまで関係の薄かった地域社会への回帰意識を強めています。その結果、人々は住まいを中心とした地域社会を舞台にして、それぞれの目的に応じて地域住民間で交流したり、共通のテ

られ、創立100周年に向けた学校法人神奈川大学将来構想の一環として新設されました。



建物は、地下2階、地上4階で、建築面積2201.75㎡、延床面積11484.5㎡。29室の講義室、学生ラウンジ、学習スペースほかで構成されています。

1階には、展示ホールが設けられ、創立者 米田吉盛先生と神奈川大学の歴史に関する資料を展示した「創立者・神奈川大学史展示室」と、日本常民文化研究所の所蔵資料などを扱う「神奈川大学日本常民文化研究所展示室」が設置されました。また、地下1階のラウンジには、本学が国際都市 横浜に生誕したことにちなんで帆船が展示され、神奈川大学の新たな船出を象徴しています。新たな施設を会員の皆様も是非ご見学ください。

●「国際女子寮」を新設

この春、横浜キャンパスまで徒歩約5分の神奈川区中丸に国際女子寮が新設されます。この女子寮には、外国人留学生50名と日本人学生50名が入寮する予定になっています。国内に居ながら異文化交流、外国人留学生との共住で寮内留学が実現する新しいコンセプトの女子寮です。建物は、鉄筋コンクリート造、地下1階、地上5階建。寮費は共益費と合わせて月額50,000円。

今後、神奈川大学の国際化による外国人留学生の支援、受け入れ体制の強化につながることを期待します。

●「東北ボランティア駅伝」報告会を開催

昨年11月28日湘南平塚キャンパスで東北ボランティア駅伝の報告会が、学生の企画で実施されました。今年の活動報告会は、まずボランティア活動の現状を映した動画の上映、陸前高田の被害の様子と今なお200名以上の行方不明者の捜索が続いていること等の現状が、

現地コーディネーターから報告されました。その後参加経験者を交えての座談会、子供支援や漁業の手伝いなどの活動報告等の発表がありました。

東北ボランティア駅伝は、これまで「だより」でしばしばお伝えしていますので会員の皆様もご存じだと思います。前学長の中島三千男先生の発案により震災直後から被災地支援活動として、継続的に続けています。平成23年度と平成24年度は、被災された方向けの物資の仕分けや配布、全国から寄贈された図書 of 整理や分類、被災した文化資料の洗浄などの屋内作業を行う一方、沿岸の被災地でのがれきの片付けや土地整備、お茶っ子やお祭りなどのイベント運営等にも携わってきました。活動開始から2年間で約130台のバスを派遣し、学生・教職員・卒業生やご家族を含めた参加者が2000名を超えています。

3日目に入った平成25年度は、岩手県陸前高田市を拠点として現地のニーズに合わせた新たな活動を行っています。具体的には木曜日の夜に横浜を出発し、金曜日に被災地を巡視、土・日曜日は陸前高田市復興サポートステーションの活動に参加して月曜日に横浜に帰ります。これまで、がれきの片付けや側溝の泥出し、漁業支援、地域の子供支援等を行い、交流を深めています。地道な活動ではありますが、これからも被災者だけでなく学生自身の成長のために続けてもらいたいと思います。会員の皆様もこの活動を注視するとともに是非知っておいていただきたいと考えています。

事務局からのお知らせ

新会員のご紹介（敬称略）

- 佐久間克己（昭和51年貿易卒）横須賀市大津町
- 吉川 優也（平成18年法律卒）横須賀市長坂

平成26年度 総会開催の予告

- 開催日：平成26年6月15日（日）
 - 場所：横須賀セントラルホテル（京急横須賀中央駅そば）
 - 内容：講演会・懇親会
 - 会費：6,000円程度
- 詳しくは会員向けの通知やHPでご案内いたします。

会費納入のお願い



会計を担当しております若林
(昭和39年経済卒)です。

年会費の振込をお願いします。
該当者には郵便の「払込取扱
票」を同封しました。振替手
料は支部で負担いたします。

◎郵便振替受入口座：久里浜支店 00290-5-95815

神奈川県三浦半島宮陵会

◎横浜銀行口座：久里浜支店 普通預金 1747984

神奈川県三浦半島宮陵会

●年会費は年間3千円、4年間前納は1万円です。

※神奈川県三浦半島宮陵会(当地域組織)の活動は、
年会費で運営しています。宮陵会本部の会費とは異
なりますので、ご注意ください。

年会費納入状況 (H26.2.28現在)

〔平成26年3月末まで納入済 更新をお願いいたします〕

(鎌倉) 川瀬 元夫、 山岸 一輔	石井 和行、 古川 勝彦	
(逗子) 岸本 光瑞、 深津 敏夫	田原 清彦、 中島 龍彦	
(葉山) 岩澤 正之、	中村 進	
(横須賀) 山内 元式、 萩原 孝、 落 勝廣、 篠原 久恒、 市川 国男、 福島 康臣、 森下 守久、 嶋田 晃、 渡邊 健、 久根口昭二、	八嶋 政臣、 中山 廣男、 村田 龍也、 結城 康雄、 金井 昌孝、 島崎 和久、 鈴木 稔、 塩塚 定雄、 川口 好孝、 工藤 真也	沖 丞、 石井 一男、 菊池 武、 長谷川征勝、 熊澤 勝喜、 砂川 正夫、 野村 晴男、 舟崎 学志、 清水 英樹
(三浦) 原 柳作、	石渡 大輔	

〔平成27年3月末まで納入済〕

(鎌倉) 小田 進一、 田中 章仁	小澤 光、 矢澤 基一、	
----------------------	-----------------	--

(葉山) 中川 六郎、	石渡 俊一	
(横須賀) 南雲 忠男、 金野 義勝、 石田 泰教、 星山 正範、	角谷 彰、 稲垣 茂、 松岡 和行、 鈴木 康介、	大倉 国光、 嶋田 順子、 鳥海 洋義、 吉川 優也

〔平成28年3月末まで納入済〕

(鎌倉) 井口 淳		
(逗子) 長澤 良成		
(葉山) 米田 光男、	小池 邦夫	
(横須賀) 塚田 尚、 名取美佐男、 伊澤 隆雄、 鈴木 伸夫、 堀越 昌樹、	奥野 晶洋、 相原 充、 江尻二十三、 西脇 幸二、 箕輪 義夫、	久保田宣彦、 鈴木 和夫、 鈴木 三郎、 二井美恵子、 田中 弘
(三浦) 源代 价克、	塩谷 宏之	

〔平成29年3月末まで納入済〕

(鎌倉) 小永井 潔		
(逗子) 青木 猛		
(横須賀) 芝崎 元晴、 青山 隆一、 長島 保雄	轟田 俊秀、 永野 茂、	武井 利徳、 石渡 卓

〔平成30年3月末まで納入済〕

(鎌倉) 若林 秀明	
(横須賀) 内藤 正久、	佐久間克己

合計：92名

～編集後記～

東日本大震災から早いもので3年が経過しました。被災地では復興に向けて沢山の方々が、日々努力を続けていらっしゃいます。そうした中で母校が地道に続けている「KU東北ボランティア駅伝」は、卒業生の一人として誇りに感じています。これからも是非続けてもらいたいと希望しています。昨年、宮古市から気仙沼市までの被災地を巡り、甚大な被害を見聞きし、苦勞している皆様のお話をお聞きして胸が痛みました。個人では被災地を応援できることは限られていますが、いつも被災地の情報を気にしたり、現地の生鮮品や一般食品等の購入、東北への旅行などは続けていきたいと思ひます。東北大震災を風化させないことが大切だと考えています。(N)